

担当事務所：朝倉県土整備事務所

一般国道 500号 (馬田2工区) 交通安全事業(自歩道設置)

1. 事業概要

1) 路線の概要

一般国道500号は、大分県別府市を起点とし、大分県日田市、福岡県添田町、東峰村、朝倉市を經由し、佐賀県鳥栖市を終点とする総延長111.8kmの主要幹線道路である。山間部の沿線には、英彦山や秋月など歴史・文化・自然景観を有し、平野部は大分自動車道を補完し地域の産業や住民生活を支えており、重要な機能を担っている。

2) 事業の必要性

- ① **安全安心な交通空間の確保**：本事業区間の周辺には、西鉄甘木線馬田駅、甘木鉄道高田駅があり、馬田小学校の通学路にも指定されており、歩行者や自転車の利用が多い。さらに、自動車交通量が多いうえ、歩道が十分に整備されておらず、通行者の安全性の向上を図る必要がある。
また、本事業区間の一部は、朝倉市の通学路交通安全対策プログラムにも対策必要箇所として位置付けられており、歩道整備に早期に着手する必要がある。
- ② **事故発生の抑制**：本事業区間の直近5か年の事故発生件数は8件であり、変則な交差点形状により交通が滞留していることなどに起因している。交差点部を改良し、右折車線を設けることで、安全安心かつ円滑な交通空間を整備する必要がある。

3) 事業により期待される効果

- ① **安全安心な交通空間の確保**：自転車歩行者道を整備し、車両と歩行者・自転車との交通を分離することにより、通行者の安全性の向上を図ることができる。
- ② **事故発生の抑制**：交差点部に右折車線を設けて直進・左折交通と右折交通を分離することで、交通事故の抑制を図るとともに、交通混雑の緩和が期待できる。

2. 現道の状況

自動車交通量：13,159台/日 (R4年9月調査)
自転車交通量：37台/12h (R4年9月調査)
歩行者交通量：45人/12h (R4年9月調査)
通学路：学校指定
交通事故発生状況：8件 (平成27年～令和元年)

3. 計画内容

箇所名：朝倉市馬田
延長・幅員：L=250m W=6.5(11.75)
全体事業費：C=650百万円
事業着手年度：令和5年度
完成目標年度：令和12年度

4. その他特記事項

朝倉市及び朝倉市馬田区からの要望 (令和4年10月)

